国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

資料配布の場所
1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
平成29年1月27日同時配布

国総研
NILIM National Institute for Land and Infrastructure Management

平成２９年１月２７日
国土技術政策総合研究所

地区レベルの将来人口予測ツールを作成しました

～まちの将来を見通し、コンパクトなまちづくりを推進～

国総研では、コンパクトなまちづくりを進める地方公共団体を支援するため、**将来人口・世帯予測ツール［試行版］を作成**しました。

本ツールにより、通常は高度な情報処理が必要な**小地域（町丁・字）単位での人口や世帯数の将来予測が Microsoft Excel 上で容易に行えます**。また、5歳階級別・性別の予測や、予測結果のマップ表示が可能な点も特長です。

今後は、国土交通省都市局都市計画課とも共同して本ツールの普及を図っていきます。

我が国は本格的な少子高齢・人口減少社会に突入し、これまでの拡散型の都市構造から、生活利便施設の維持やアクセス性の向上、環境負荷の低減、都市経済の生産性向上等につながるコンパクトなまちづくりが、今日の都市計画上の重要な課題となっています。

このため、国総研における研究の一環として、「小地域（町丁・字）を単位とした将来人口・世帯予測ツール［試行版］」を作成し、G空間情報センター（https://www.geospatial.jp/）において公表しました。

本ツールは、国土交通省都市局都市計画課とも共同して地方公共団体の都市計画部局等への普及を図るとともに、今後の改良に向け、多くの方々のご利用とご意見・ご感想を期待するものです。

■本ツールの特長

- これまで市区町村単位でしか得られなかった5歳階級別・性別人口及び世帯数の将来予測が、小地域（町丁・字）単位で可能。
- Microsoft Excel 上で操作でき、さらに、プルダウンメニュー等で簡単に操作が可能。
- 1回の操作で、市区町村内の全小地域（町丁・字）の予測が可能。
- 全国の人口データベースが付属しており、新たなデータの準備が不要。
- 予測手法も選択可能であり、各小地域の出生や社会増減の動向を独自に加味することも可能。
- 予測結果は、Microsoft Excel 上でマップ表示することが可能。
- 地理情報システム（GIS）での活用も可能で、予測結果の 100mメッシュへの配分も可能。

■本ツールの入手方法

一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が運用するポータルサイト「G 空間情報センター」（https://www.geospatial.jp/）においてユーザー登録の上、国土交通省国土技術政策総合研究所のサイト（https://www.geospatial.jp/ckan/organization/nilim）から、本ツールをダウンロードして下さい。（無償にてご利用いただけます。）

（お問い合わせ先）
国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市開発研究室　　室長　　勝又　済
TEL：029-864-2211（内線 4521）　FAX：029-864-6776　E-mail：nil-tosikai@mlit.go.jp

小地域（町丁・字）を単位とした将来人口・世帯予測ツールのイメージ

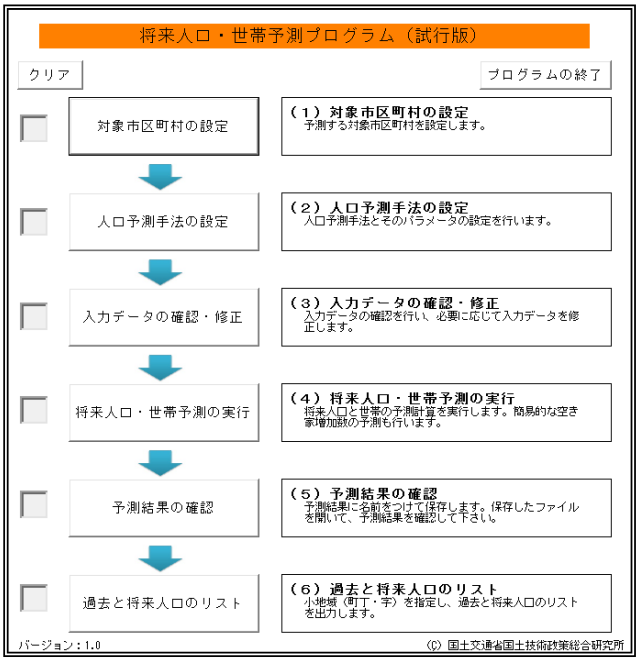


図1　将来人口・世帯予測プログラムのメインメニュー
（メニューのガイドに従って操作を進めていきます。）

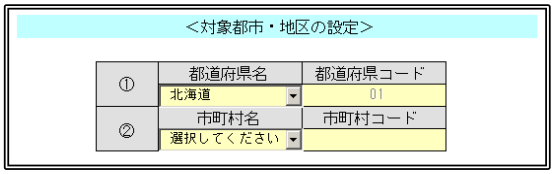


図2　プルダウンメニュー方式による対象都市の設定画面
（予測を行う都市をプルダウンメニューで選択します。）

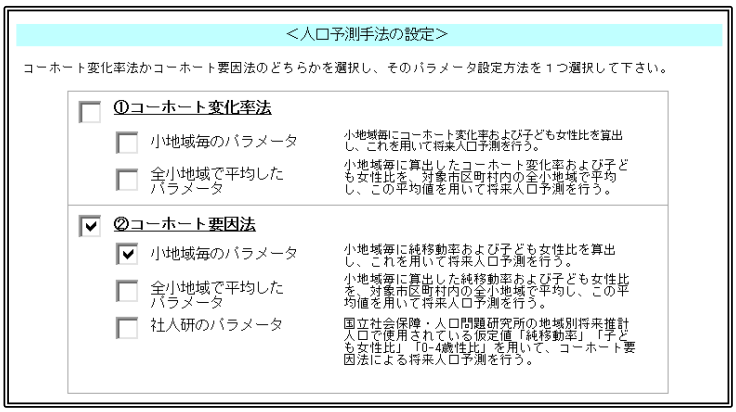
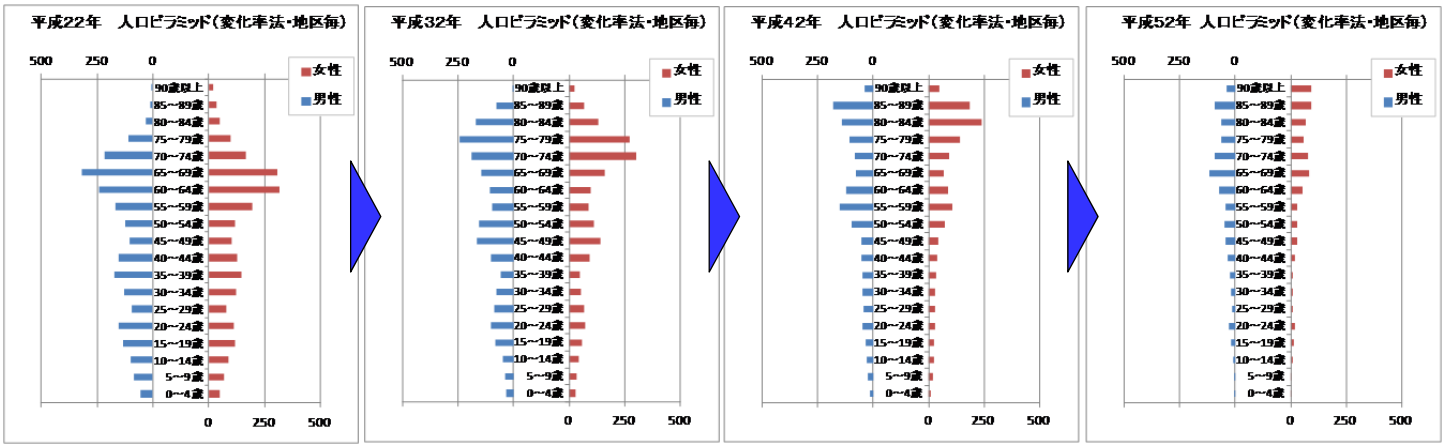
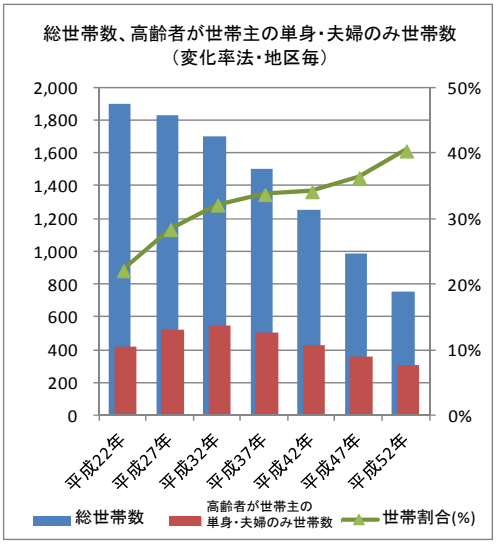


図3　チェックボックス方式による人口予測手法の設定画面
（人口予測手法やパラメータをチェックボックスで設定します。）

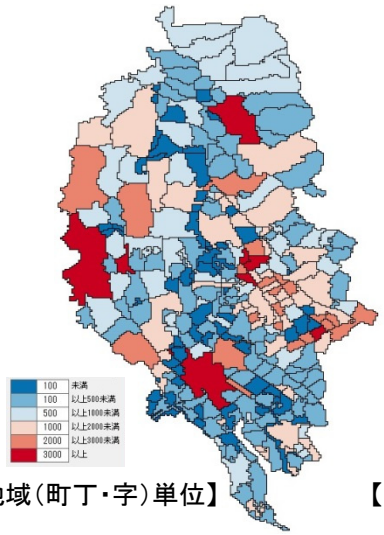
本ツールによって得られた予測結果を活用すれば、小地域（町丁・字）単位で、
例えばこのようなグラフやマップを作成することなども可能です。



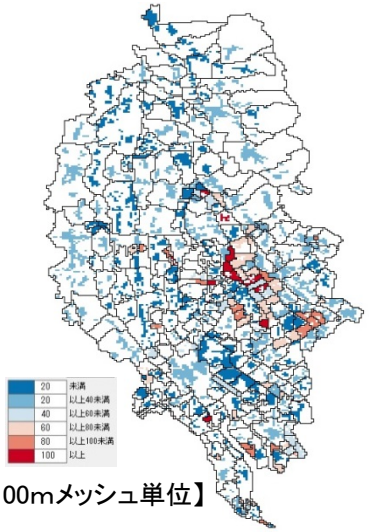
＜人口ピラミッド＞



＜総世帯数、高齢者が世帯主の単身・夫婦のみ世帯数＞



【小地域（町丁・字）単位】



【100mメッシュ単位】

＜Excel ベースの簡易描画プログラムによる人口予測結果のマップ表示例＞